

行事コード：252106



「補修・補強のための高力ボルト摩擦接合技術」に関する講習会 開催のお知らせ オンライン開催

既設鋼構造物の補修・補強は、高力ボルト摩擦接合を用いた当て板により行われることが多くなっています。当て板補修の設計・施工は、高力ボルト摩擦接合継手の設計・施工・維持管理指針（案）や道路橋示方書の連結をよりどころとして実施されています。しかし、当て板は、主に既設部材の片面に高力ボルト摩擦接合により鋼板などの部材を取付ける技術であり、連結とは異なった力学機構を有し、これを設計に反映させる必要があることが明らかになりつつあります。また、接合技術として、片側施工高力ボルトなどの新たな締結材も登場していますが、それを用いた設計・施工に関する技術基準を確立するには至っていません。

現在、各種構造物の技術基準が許容応力度設計法から性能照査型設計法へ移行され、限界状態設計法を導入した設計・照査体系へと変化していますが、高力ボルト摩擦接合継手の設計体系がすべり限界を主な対象としていたため、すべり後の挙動として、重要な支圧限界やボルトのせん断破断限界などの限界状態に対する知見の蓄積が遅れていました。

このような現状を踏まえ、本講習会では、「高力ボルト摩擦接合の設計およびそれを用いた鋼部材の補修・補強に関する調査研究小委員会（DR-HSB 小委員会）」で編集した「鋼構造シリーズ 37 補修・補強のための高力ボルト摩擦接合技術」の内容をもとに、高力ボルト摩擦接合を用いた当て板補修・補強の現状と、設計・施工上の課題や留意点などをわかりやすく解説します。また、高力ボルト摩擦接合継手および当て板の限界状態とその照査法に関する検討に資する多くの技術情報もわかりやすく解説します。

1. 主 催：土木学会（担当：鋼構造委員会）
2. 日 時：令和3年12月9日（木）13：00～17：00
場 所：オンライン開催（ZOOM ウェビナーを予定、説明資料の配布あり）
3. 定 員：300名
4. 参加費：会員 9,000 円、非会員 11,000 円、学生会員 6,000 円（テキスト代、送料込み）
5. 申込み締切日：令和3年12月6日（月）

なお、講習会当日までにテキスト到着をご希望の方は 令和3年11月29日（月） とします。
11月30日（火）以降のお申込みについては開催後の発送になりますので予めご了承ください。

6. 申込方法：土木学会ホームページ内からお申し込み下さい。

(<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>)

参加用と説明資料の URL 等は 12 月 7 日 (火) に事務局からメールにて連絡予定です。

開催日前日までにメールが届かない場合は下記の「問合せ」までご連絡下さい。

※申込みに関してのお願い

(1) 締切日以降の受付はいたしません。

(2) お申込み後、やむを得ずキャンセルされる場合は、必ず開催日の 1 週間前までに下記の「問合せ」にご連絡ください。

7. 問合せ：土木学会 研究事業課 桃井

E-mail：momoi“at”jsce.or.jp (“at”を@に変更してください)

8. プログラム

13：00～13：10 開会の挨拶

DR-HSB 小委員会 委員長

13：10～14：10 第 1 編 高力ボルト摩擦接合継手における限界状態設計法の検討

永田和寿（名古屋工業大学）

14：10～15：10 第 2 編 接合面に不陸修正材を用いた補修・補強

刑部 清次（(株)建設技術研究所）

休憩（15：10～15：25）

15：25～16：25 第 3 編 片側施工高力ボルトを用いた補修・補強

関 宏一郎（NEXCO 西日本コンサルタンツ（株））

16：25～16：55 第 5 編 高力ボルト摩擦接合を用いた当て板の設計・施工・維持管理要領作成のための検討資料

小笠原照夫（川田工業（株））

16：55～17：00 閉会の挨拶

DR-HSB 小委員会 幹事長

9. 参加方法

土木学会 2 階講堂から ZOOM ウェビナーによるライブ配信をしますので、ご自身の職場などでご視聴ください。当日、土木学会 2 階講堂での聴講をすることはできません。

10. CPD

※本講習会は CPD 認定プログラムです（申請中）

受講証明証は、事前参加登録者のうち、100 文字以上の簡易レポートを提出していただき、受講していたことが確認できた方に発行いたします。レポートの提出期限は 12 月 16 日 (木) 17:00 必着です。期限を過ぎますと受付いたしませんのでご了承ください。内容を確認し、提出期限日以降に順次受講証明証を発行いたします。多少お時間を頂く場合もございますのでご了承ください。

【各 CPD システム利用者への対応について】

- ◆土木学会 CPD システム利用者様：今回は完全オンライン実施のため、参加者ご自身による CPD システムへの「自己登録」をお願い致します。
- ◆建設系 CPD 協議会加盟団体 CPD システム利用者様：各団体のルールに沿って、CPD 単位の申請をお願い致します。

※土木学会以外の団体に提出する場合の方法等は提出先団体に事前にご確認ください。

土木学会で証明する単位が各団体のルールにより認められないことがあります。

土木学会では他団体の運営する CPD 制度に関しては回答いたしかねます。